

(3) 受診率向上に向けた主な取組

開始年度	主な取組						
平成 27 年度	・ 集団検診において 5 種類のがん検診と特定健康診査との同時実施の拡充 (㉔ 21 回 → ㉕ 44 回) ・ 集団検診における胃がん、子宮頸がん及び乳がんの予約制の運用 ・ 子宮頸がん、乳がん及び大腸がん検診について、特定年齢の対象者への無料クーポン券の交付及び個別受診勧奨 (がん検診ごとの無料クーポン券交付対象者) <table border="1"> <tr> <td>子宮頸がん</td><td>20 歳の女性並びにこれまで無料クーポン券を未利用の 22, 25, 27, 30, 32, 35, 37 及び 40 歳の女性</td></tr> <tr> <td>乳がん</td><td>40 歳の女性並びにこれまで無料クーポン券を未利用の 42, 45, 47, 50, 52, 55, 57 及び 60 歳の女性</td></tr> <tr> <td>大腸がん</td><td>40, 45, 50, 55 及び 60 歳の男女</td></tr> </table>	子宮頸がん	20 歳の女性並びにこれまで無料クーポン券を未利用の 22, 25, 27, 30, 32, 35, 37 及び 40 歳の女性	乳がん	40 歳の女性並びにこれまで無料クーポン券を未利用の 42, 45, 47, 50, 52, 55, 57 及び 60 歳の女性	大腸がん	40, 45, 50, 55 及び 60 歳の男女
子宮頸がん	20 歳の女性並びにこれまで無料クーポン券を未利用の 22, 25, 27, 30, 32, 35, 37 及び 40 歳の女性						
乳がん	40 歳の女性並びにこれまで無料クーポン券を未利用の 42, 45, 47, 50, 52, 55, 57 及び 60 歳の女性						
大腸がん	40, 45, 50, 55 及び 60 歳の男女						
平成 26 年度	・ 5 種類のがん検診のお知らせを一つにまとめたチケット形式の受診券を導入 ・ 集団検診における 5 種類のがん検診と特定健康診査との同時実施を拡充 (㉔ 3 回 → ㉕ 21 回) ・ 特定年齢の対象者に、子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券交付 (子宮頸がん及び乳がん検診は特定年齢の変更: ①子宮頸がんは 20 歳の者、②乳がんは 40 歳の者、③過去 (平成 21~24 年度) に無料クーポン券の配布を受けた対象年齢者のうちの未受診者) ・ 胃がん・乳がんの集団検診に予約制の導入 ・ 要精密検査者の結果把握のため、医療機関へ返信用封筒の配布 ・ 地域で受診勧奨を行う健診サポーター養成講座の開催 						
平成 25 年度	・ 妊婦健康診査の検査項目への子宮頸がん検診の追加 ・ 広島市公衆衛生推進協議会と連携した、地域への呼びかけやチラシ配布等による受診勧奨 ・ がん検診推進協賛の追加						
平成 24 年度	・ ショッピングセンターでの集団検診の実施 ・ 小学校への出前授業						
平成 23 年度以前	・ 特定年齢の対象者に対する子宮頸がん・乳がん、大腸がん検診無料クーポン券の交付及び未受診者への受診勧奨通知 ・ 休日検診や託児付き検診を実施 ・ 大学と連携したイベント等での普及啓発 ・ 「ひろしまがん検診推進協定」締結企業等と連携したチラシの配布等による普及啓発 ・ 患者団体等との共催によるピンクリボンキャンペーンの実施 ・ バス車内での広報ステッカー掲出 ・ 広報紙及びホームページ等による普及啓発						